

胆道閉鎖症の病型分類に関する作業部会議事次第

日時 平成 24 年 7 月 8 日 16 時 00 分から 18 時 00 分

場所 学士会館 308 号室

作業部会構成メンバー（五十音順）

安藤久實	名古屋大学小児外科教授	出席
北川博昭	聖マリアンナ医科大学小児外科教授	出席
窪田正幸	新潟大学小児外科教授	欠席
鈴木達也	藤田保健衛生大学小児外科教授	出席
田口智章	九州大学小児外科教授	出席
仁尾正記	東北大学小児外科教授	出席

オブザーバー

橋本 俊 先生	出席
---------	----

事務局

佐々木英之

はじめに 田口智章教授よりご挨拶

協議事項

1. 現在の BA の病型分類試案について

現在の試案についての説明

現在の試案の問題点

- 1) I 型・II 型と III 型
- 2) 嚢胞形成型 BA と CBD
- 3) 肝門部胆管分類 、 、 について
- 4) 外観が結合織塊で肝内が造影される場合
- 5) 吻合可能型と吻合不能型
 - A) は肝門部吻合になるので経過は III と同じ？
- 6) その他

2. 造影データの集積・解析

α つまり吻合可能型の肝内胆管と β つまり吻合不能型の肝内胆管像
嚢胞形成型 BA と CBD の造影像

根治術時の造影と時期が経過した後の造影像の比較
データ集積の方法

1) 対象

- A) WG 参加施設の状況を確認
- B) 症例が不足していれば他施設をあたる

2) 方法

- A) 調査票方式か
- B) 調査票の記載内容
- C) 全国登録データの活用

3) 調査時期

3. その他

会議資料

1. 胆道閉鎖症病型分類試案
2. 全国登録における病型などの分布状況

文責 佐々木英之